
開催日: 2025 年 11 月 2 日
神奈川県民センター 2F ホール
将来構想剣道人口検討部会

「剣道人口減少とその対策」
剣道やろうよ。～一人でも多くの人へ～ 剣道つづけようよ！

本年度の剣道研究会は、昨年に引き続き「剣道人口減少とその対策」をテーマに掲げ、中高生の剣道人口減少への対応に加え、近年の重要課題である「中学校部活動の地域展開(移行)」についても議論を深める発表会となりました。

来場者数は 113 名と、昨年の 91 名を上回り、本テーマへの関心の高さがうかがえます。

野見山会長より、文部科学省・スポーツ庁の指針を紹介しつつ、今後の中学校部活動の地域展開に関する課題として以下の点が共有されました

- 改革実行期間 前期:令和 8 年～令和 10 年 後期:令和 11 年～令和 13 年
- 活動数・活動時間の調整
- 部活動指導員・外部指導者の活用
- 保険・医療との連携

また、神奈川県剣道連盟としても、神奈川県スポーツ課との意見交換を行い、本課題に対して積極的に取り組む姿勢が示されました。

飛知和委員長より研究会の趣旨と各発表の概要が説明され、以下の発表が行われました

発表一覧

発表順	内容	発表者
1	開会の挨拶	野見山会長（神奈川県剣道連盟）
2	研究会趣旨説明	飛知和委員長（将来構想剣道人口検討部会）
3	中学校部活動活性化への取り組み	小島和樹氏（相模原市立共和中学校 教諭）
4	中高交流会の報告	大川洋氏（将来構想剣道人口検討部会）
5	地域展開の現状と今後の備え	桜井裕介氏（将来構想剣道人口検討部会）
6	出席者との意見交換	研究会出席者
7	閉会の挨拶	伊藤専務理事（神奈川県剣道連盟）

進行司会：高瀬武志氏（将来構想剣道人口検討部会）

意見交換の要点

- ・ 伊藤専務理事より、海老名市教育委員会との意見交換の報告。県スポーツ課も本課題を重要視していることが確認され、今後も情報共有を継続する方針。
- ・ 野見山会長より「待ったなし」の状況であることが強調され、各単位（県・市・道場）で具体的な行動を求める
- ・ 綾瀬市会員より、地域展開における市の進捗状況の情報提供
- ・ 鶴見支部会員より、完全移行は令和 13 年であること、また「移行」から「展開」への表現変更があったことの共有。道場からの直接アプローチには慎重な対応が必要との意見。
- ・ 保土ヶ谷支部教諭より、中学校剣道部が参加できる大会・イベントを神奈川県剣道連盟が主催してくれることを要望

研究会資料

研究会発表資料は以下よりご覧いただけます：

[剣道研究会について（11月2日開催）資料2 改訂 - 一般社団法人 神奈川県剣道連盟](#)

将来構想剣道人口検討部会 館岡 和彦